



クラブ会報



会員スピーチ(1)

第7回例会(通算第584回)

事 務 局 : 福島県福島市天神町 13-5 アンビックス 5 201号 TEL:024-525-2331 FAX:024-525-2332

WEB サイト : http://www.fukushima21rc.jp/ E-mail : f21rc@fukushima21rc.jp

☆会報·雜誌·広報委員会 委員長:松本和彦 委員:粕谷悦功 藤野圭史 樋口静克

< 2013-2014 年度 > 会長:阿部正美 幹事:伊藤淳一

THE FOUR-WAY TEST

四つのテスト

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか

【日付】8月22日(木) 【場所】サンパレス福島 【開会点鐘】18時30分

【出席報告】

会員数: 53名 出席数: 25名 出席率: 48.08% 長期欠席者: 1名 出席免除者: 4名

【会報発行】

第 2530 地区県北第一分区 福島 21 ロータリークラブ

委員会報告

■財団 BOX

9,000 円

■スマイリンク BOX

35.000 円

■米山 BOX

6,000 円

会長あいさつ

会長: 阿部 正美

皆様お晩でございます。本日の例会は、会員スピーチの1回目として、当クラブでベテランのお二人にお願い致しました。山田三郎パスト会長、望木昌彦会員のお二人にお願いしましたので、宜しくお願い致します。





年間プログラムが大分間違えておりました。訂正したものを入れさせて頂きましたので、年次計画書の差し替えをお願い致します。それから、来月12日の例会は、予定を変更して、西口清掃となっております。時間が朝の6時からの開会ですので、間違わないでください。よろしくご協力のほどお願いします。

ロータリー財団セミナーの報告

皆さん今晩は、8月3日郡山市にてロータリー財団セミナーが 開かれましたので、出席して参りました。ロータリー財団の括りが 大きく変わったところを、それに伴う締切や要件について報告致 します。 今までの制度が流動的に変わっていたのですが、今回 3つの補助金であることがわかりました。1つは地区補助金、 2つはグローバル補助金、3つはパッケージグラントという括りに 変わりました。地区補助金は、地元地域や海外における割合小規



ロータリー財団委員会 伊東優子副委員長

模・短期的な活動を支援する補助金です。それに対して、グローバル補助金は長期的・比較的大規模で、国際的活動を支援する補助金となります。(中略 詳細はネット等でご確認ください) 3つ目のパッケージグラントもグローバル補助金の活動に類似してまして、どこにでも人道的プロジェクト・奨学金、そして職業献身チームにあたっての補助金の取得。と細かく説明されました。(中略)詳細についてはウェブの方で細かく説明されておりますので、社会奉仕委員会・国際奉仕委員会・新世代委員会についてそれぞれ活動にあたって、支援金の補助申請がありますので、計画を立てる前にご覧ください。分からないところは地区財団委員長が説明致しますとのことでした。

会員スピーチ:山田三郎パスト会長

皆さん今晩は、私にスピーチの時間を与えて頂いてありがとうございます。今回は日本ロータリーの歩みについて日本ロータリーの誕生とその成長をお話しします。 ロータリーの日本導入の主役が福島喜三次と米山梅吉であったことは伝えられている通りでありますが、2人



の持った役割については誤伝が多いようです。ロータリーの日本導入に至る経過と、米山・福島の関係については、東京 RC が RI のジョージ・ミーンズ事務総長から資料の提供を受けて従来の伝説を書き換え、1970 年に発行した"東京ロータリー・クラブ 50 年のあゆみ"の記録に拠ったようです。 1905 年にシカゴの青年弁護士ポール・ハリスによって立案されたロータリークラブは、それから十数年の後、すなわち 1920 年 10 月 20 日に、わが国最初の RC として会長米山梅吉、幹事福島喜三次、会員数 24 名をもって東京 RC が創立されたそうです。しかし、日支事変が拡大・長期化すると一時国際 RC を離脱するのをやむなきに至ったそうです。終戦後 1949 年国際 RC へ復帰すると日本の RC は各都市に爆発的発展を見せ、今日米国に次ぐ世界第二位の RC 国に成長したようです。 当地区では、一番最初に創立したのが郡山 RC で昭和 11 年、そして福島 RC が昭和 26 年、それから飯坂 RC が昭和 33 年となります。第一分区ではその後、福島南 RC が昭和 46 年などで、当クラブが平成 13 年でした。(中略)この辺で時間となりましたので、終わらせて頂きます。有難うございました。



皆さん今晩は、日頃お寄せ頂いております、ご友情に感謝申し上げます。ロータリーに入会させて頂いたのが、昭和 52 年 1 月 7 日からで福島南 RC へ入会、職業分類は私立学校でした。福島 21RC へは発足と同時にこちらに移りました。 私が運営しております学校法人



尚志学園は昭和34年、わずかな生徒から出発した福島高等予備校がスタートでしたが、5年後の昭和39年わが国最初の女子の工業高校を設立し、その後も専修学校・幼稚園・保育園など、これまでに三校三園併せて、39,509名の生徒・園児を世に送り出すと共に、在校生・在園児は2,380名を数え、学園教職員も約250余名を超える規模へと発展を遂げて現在に至ることが出来ました。この54年間、数々の問題に直面し、多くの困難と格闘しながらも立ち止まってしまえば、風に押し戻されてしまうので、どんな時でも前に進んでいくことが現状を打開し、道を切り拓いていくのだとの信念を抱きながら、一歩一歩と前進し続けて参りました。これもひとえに今日まで学園を支えて頂いたロータリアン皆さんのお陰であると思っております。今後、私学運営は少子化と原発事故等の影響で益々困難を極めていくことと思われますが、創立の原点に返り、資源の乏しい我が国において、産業を発展させる原動力となるのは人の力に於いて他になく、子供たちの持っている一人一人の個性や能力を充分に引き出し、人づくりこそが地域社会や県政進展の基本であるとの精神のもと、「危機意識」こそ前進するための推進力として、自らの学園の振興発展に「自信と誇り」を持ちながら、ロータリアンとして新たな飛躍へ向かい歩いてまいりたいと存じます。

【 ご寄付者と BOX メッセージ 】

■スマイルボックス寄付者■

山田・望木会員のスピーチ、楽しみです。水野博光 じぇじぇじぇ ユキオ 銘形 仁 阿部正美 山田三郎 望木昌彦 安部宏 三瓶善明 小林利光 佐々木廣充 長澤なをみ 佐藤敬 本田勝秋 若穂囲四平 野崎正広 大波紀仁 木村幸二 瀬戸邦弘 甚野理亮

- ■財団ボックス寄付者■ 阿部正美 山田三郎 望木昌彦 水野博光 佐々木廣充 安部宏 本田勝秋 木村幸二 松本和彦
- ■米山記念奨学会寄付者■ 阿部正美 望木昌彦 水野博光 安部宏 本田勝秋 木村幸二



【本日のプログラム】

- 1. 開会点鐘
- RC ソング斉唱 「我らの生業」
- 3. 四つのテスト唱和
- 4. お客様紹介と会長あいさつ
- 5. 出席報告ロータリー財団委員会
- 6. 幹事報告
- 7. 委員会報告 「お食事をどうぞ」
- 8.会員スピーチ① 山田三郎会員 望木昌彦会員
- 9.閉会点鐘

【プログラム実施予定】

8月22日(木)

会員スピーチ①

29日(木)

会員スピーチ②

9月5日(木)

月間スピーチ②

担当:新世代委員会

12日(木)

福島駅西口美化

活動作業AM6:00~